

小学生向け創造性を育む「本の楽しみかたカード」のワークショップ

1 活動の概要

山内図書館では、青葉区の小学校において「本の楽しみかたカード」を使ったワークショップを開催した。「Life with Reading」の「子ども版」として作られた「本の楽しみかたカード」は、10枚のカードで構成されており、小学生でも活用できるやさしい言葉で書かれている。「本との出会い」、「読みかた」、「読書の日常への定着」の3つのカテゴリーに分かれている。参加学年は学校によって異なり、小学2年生から6年生まで幅があったが、学年ごとに楽しんでもらうことができた。

2 活動の状況、実際

【対象】小学生

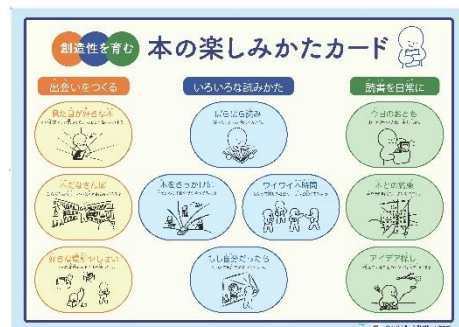
【持ち物】筆記用具

【内容】ワークショップの開催

- ① 4～6人でグループを組む
- ② カード一覧の中から各自好きなカードを1枚選ぶ
- ③ 選んだカードについて、なぜ選んだのかを一人ずつ発表する
- ④ 発表に対して質問やコメントを付箋に書いて発表者に渡す
- ⑤ 発表者は付箋を見て質問に答え、コメントを読み上げる

【考察】

発表のあとの質問やコメントが活発に行われ、「自分の話に対して、興味をもってくれる、質問を寄せてくれる、共感してくれる」ということが体感できたと思われる。良好なコミュニケーションが成立しており、等身大の友だちの読書体験が刺激となって読書意欲を刺激していた。



3 参加者、指導者等の声

【参加児童の声】

- みんなの前でなぜこのカードを選んだのか発表するのが楽しかった。
- みんなの発表を聞くのが楽しかった。
- みんな素敵な感想をくれてうれしかった。
- みんなの本の読み方がわかった。
- 本の良さをたくさん知り、本を読んでみたいと思った。

